

# 「肥満患者の静脈内鎮静法においてNasal high flowを使用した症例の後ろ向き調査」へご協力をお願い

- 平成27年9月1日から平成28年1月31日まで岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センターにおいて歯科疾患および知的障害と診断された方へ -

研究機関名	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 岡山大学病院		
研究機関の長	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	研究科長	谷本 光音
	岡山大学病院	病院長	榎野 博史
研究責任者	岡山大学病院 歯科麻酔科	講師	樋口 仁

## 1. 研究の概要（研究の背景、目的及び意義）

近年、患者様の体内への酸素の取り込みを助ける経鼻高流量酸素という器機があります。これを使用する事により、これまでより患者様の負担を少なくして適切な酸素の取り込みを促す事が出来ます。当科においても静脈内鎮静法の管理法として、肥満の患者様など麻酔中に酸素の体への取り込みが悪くなりやすい方に使用を始めております。そこで今回この経鼻高流量酸素がどの程度、静脈内鎮静法中の酸素の取り込みを助けているかを、カルテをもとに検証する研究を行います。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

平成27年9月1日から平成28年1月31日まで岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センターにおいて歯科疾患および知的障害と診断された方5名程度を対象とします。

### 2) 研究期間

平成28年3月15日 ~ 平成30年3月31日

### 3) 研究方法

これまで歯科麻酔科において静脈内鎮静法下で歯科治療を患者様のうち経鼻高流量酸素を使用した患者さまの症例についてカルテをもとに調査します。

### 4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録等から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、拒否機会期限終了後、連結不可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴
- 2) 術中の血圧、脈拍、動脈血酸素飽和度、使用薬剤、使用薬剤量、処置内容、処置時間

### 5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学歯科麻酔科 医局内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページならびにスペシャルニーズ歯科センターの掲示板にポスターを掲示してお知らせいたします。

### 6) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

連結不可能匿名化されている為。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

## <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 歯科麻酔科 講師 樋口 仁  
電話086-235-6813(平日8時30分から17時00分)